

SSKU

2014

お元気ですか?
イリアンソス
です。



社会福祉法人イリアンソス

●のぞみの家

東久留米市下里 2-7-18
042-473-9027
042-473-9036 (F)
nozomi@iriansos.or.jp

●活動センターかなえ

東久留米市八幡町 1-1-12
042-420-6316
042-420-6341 (F)
kanae@iriansos.or.jp

●なかまの家

東久留米市中央町 2-1-47
042-472-7130
042-444-3722 (F)
nakama@iriansos.or.jp

●生活寮「うみ」「そら」

東久留米市下里 4-2-7
042-476-3400 (F 兼)
sora@iriansos.or.jp

●生活寮「にじ」「かぜ」

東久留米市下里 5-10-10
042-420-9943
kaze@iriansos.or.jp

●このみ

東久留米市幸町 3-8-23
042-473-9667

理事長の散歩道⑦

・特集

「調理いろいろ」

・コラム

「かなえ内示」

・なかまの家からこんにちへ

・連載 がんばれイリアンソス⑬

「寮の食事を通して」

理事長の散歩道



理事長の散歩道 ⑦

社会福祉法人イリアンソス
理事長 磯部光孝

伊藤憲碩さんが逝く

5月4日に活動センターかなえの伊藤憲碩さんが亡くなりました。67歳でした。伊藤さんは進行性筋ジストロフィーでしたので、筋力低下により亡くなりましたとのこと。

伊藤さんは、活動センターかなえが開設した当時から利用者です。障害の発症が40歳くらいからなので、それまでは、一般の会社で社員として働いていました。つまり、途中から障害が発生したのです。

伊藤さんは活動センターかなえに入るとき、障害をもっても何か社会に役立つことができ、いろいろなことに挑戦してみたいという思いがありました。障害が進行性ということもありなかなか思うように動かない体をつかい、内職仕事やパソコンの入力、封入作業に取り組んでいました。

豊かな人生を送って

まだ、伊藤さんが自力で歩くことができていたころの施設の旅行では、旅行さきの遊園地でパターゴルフをやりたいと要望がありました。障害のある人とパターゴルフをやることは私にははじめてでした。伊藤さんからいろいろ教えてもらってとても楽しかったです。

これまで、知的障害や身体障害の方とかかわってきましたが、12歳年上の社会的にさまざまな経験をされている方と接する機会をはじめてでした。伊藤さんといろんな話などさせてもらい、福祉の枠を超えて同年代の人と同じ接し方をするので、教えられることがたくさんあることを学ばせてもらいました。

特に、東久留米市の市民文化祭が駅前で行われたとき、中央の広場でジャズの演奏がありました。その演奏を伊藤さん夫妻がとても楽しそうに聞いていた姿は、今でも思い出されます。

かなえの建替えも

今回の活動センターかなえの建替えは、伊藤さんが活動できるようにすることも一つの目的でした。これまで、「旧いずみ幼稚園」の2階で活動を行っていましたが、2階へ階段で上がることが伊藤さんにとってとても大変なことでした。男性職員が2人がかりで支えてやっどです。わたしも伊藤さんと廊下を歩いていた時に、廊下のタイルにつまづいて倒れてしまったことがあります。かなえの建替えは、伊藤さんにとっても通いやすい場になる取り組みでもありました。残念ながら、

その願いはかねられませんでした。あらたなかなえはどんな人でも使いやすい施設になるよう取り組んでいきたいと思えます。あつという間に天国へ行ってしまった伊藤さん、ご冥福をお祈りいたします。



特集

調理いろいろ



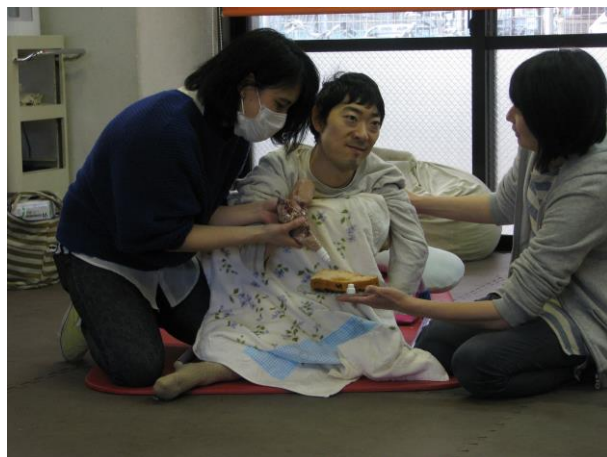
▲手作りケーキにポッキー盛りだくさん



▲誕生日嬉しいな～



▲チヂミを重ねてロウソク立てて。「うふふ」



▲クリームでデコレーション中

今回の特集は各施設（のぞみの家・活動センター）かなえ・なかまの家）の調理活動の様子をお届けします。
各施設では昼食を作ってみんなで食べたり、レクリエーションでおやつを作ったりして楽しんでいます。そんな楽しい様子を紹介します。

のぞみの家では、誕生日会を各班のレクでおこなっています。誕生日の方が一番喜ぶ好きなおやつを班の仲間で作って、にぎやかに祝いします。
写真はおひさま班の方の『ケーキのポッキー盛り合わせ』たんぼぼ班の『チヂミ』を重ねてロウソクを点けています。
型にとらわれずに楽しく美味しくを目標に作っています。

特集

食事：頑張って作業を続け完成が近づいてくると、室内にはいい匂いがあふれ、待ちきれなくて食事を覗きにくる人もいます。準備ができた人から各自食べ始めますが、すごい勢いで食べ始める人や嬉しそうな声もきかれてきて、とても充実感のある雰囲気を感じられます。

か

なえのだるま班では、調理活動を2か月に1回(年間5回)のペースで予定しています。すでに、6月に実施したお好み焼きと8月のカレーライスは大好評でした。今回は、買い物調理食事までの利用者さんの活動の様子をお知らせしたいと思います。買物：買い物は調理活動前日に行っています。買い物に行く時は、それぞれ買う材料を分担し、車で近くのお店まで行きます。すでに活動センターかなえでは、何年も前から調理活動を行っています。お店では、おいしい手にとつてカゴに入れてしまったり、ということもありすが、スタッフと一緒に食材リストをもう1回確認して、最後は「これ!」と笑顔で目的の食材を見つけています。調理：安全面はもちろんですが、利用者さんのそれぞれ得意な面を生かして作業ができるように配慮し、分担しています。ハサミや包丁を使うのが得意な人、材料をたいたて細かくするのが上手な人、焼くのが好きな人など、1人1人が楽しく作業できるように活動を進めます。

な

だるま班の調理活動は利用者さんにとって本当に有意義な活動になっていると実感できます。のはな班では、二か月に一度、調理をしています。普段、あまり経験できないことを調理を通して学び、楽しみ、皆で味わえたらと思つて取り組んでいます。ひまわりの会(自治会)では、日程や、食べたいもの、作りたいものを話し合います。メニューはメインディッシュとサラダ、デザート、の3つを柱にしています。おいしそうな写真を見ながら決めていきます。いろいろ食べたものや作りたいものがあるので、いくつか候補を上げて選ぶことにしています。目移りしてあれもこれも食べたくなります。最終的には、皆の意見をまとめて決めていきます。メニューが決まると食材選びです。「お肉は?野菜は?」等々、いろいろ飛び交います。納豆?!と意見?!が出ることもあります(笑)。調理の前日には、買い物物の担当を決めて近くのスーパーまで出かけます。間違えのないようにひとつひとつ食材を確認して行きます。調理の当日は、調理のメニューや担当を確認してから始めます。各自、食材や調理道具を選びをします。切り方や盛り付けはさまざまですが、皆と出来栄や味を楽しみながら食事をしています。





▲ジャガイモはこれくらいの大きさに切ろうかな。今日も美味しいシチューを作ろう。

な
かまの家の調理活動はさくら班は毎週水曜日、りんご班は隔週で火曜日に行っています。前日にそれぞれ買う物の担当を決めて、スーパーに行きます。スーパーは食品以外にも色々な物が置いてあるので買い物だけでなく商品を見る楽しみも大切にしていきます。調理では役割をみんな決めて、食材を切ったり、ちぎったり、楽しみながら行っています。



▲今日のサラダもおいしそうにできたよ。



▲わたし混ぜるのは得意なのよ。



▲この辺もう少し混ぜましょうか？
そうね。そうしましょ。



コラム

「活動センターかなえ」

施設整備費補助金の内示のお知らせ

「活動センターかなえ」の施設整備に障害者(児)施設整備費補助金の内示の通知が8月6日付で東京都保健福祉局からありました。

このお便りでもお伝えしてきましたが、「活動センターかなえ」は、平成14年に南沢にある旧いづみ幼稚園園舎の二階に開設されました。建物にエレベーターがないことや老朽化の進行、また市内の生活介護事業の不足などにより、平成24年に家族会が市議会に提出した請願が全会一致で採択されました。このことが、大きな解決の一步となり、市と法人の協議が着実に進行了りました。その結果、土地は市から借用し、建物は国庫補助金を受けて約2億円の施設を新築することになりました。

すでに、今年4月に「活動センターかなえ」は八幡町の器械振興協会の建物の一部を借りて活動しており、南沢の現地は現在、園舎が撤去され道路整備が進められているところで

す。「活動センターかなえ」開設以来の課題解決のためご尽力いただいた市をはじめ市議会

ならびに市内の施設関係者のみなさま、また近隣住民の皆様にも、ご報告とお礼を申し上げます。また、市に粘り強く訴えていただいた家族会の皆様にも改めてお礼申し上げます。来年の9月完成予定で、現在着工に向けて準備を進めているところですが、建設費のうち約五千万円が自己資金として必要になります。資金づくりのとりくみも後援会のみならず、バザーや映画会の開催などでご尽力くださっています。

引き続き、ご支援とご協力をお願い申し上げます。

活動センターかなえ

施設長 多田由美



なかまの家からこんにちは

今回は、なかまの家のどんどん会(自治活動)を紹介いたします。どんどん会は毎週水曜日の午後活動で行っています。その時間になると会で使うホワイトボードを事務所から運んでくる利用者さんもいて、楽しみにしている人も多い活動です。どんどん会には、テーマ曲があり、始まる前にみんなで手拍子しながら歌います。テンポが良くみんな盛りが上がっています。ちなみにこのテーマ曲は地方民謡の変え歌です。

どんどん会は、色々な意見を出し合ったり、聞いたりして行事などの計画を決めていきます。特に盛り上がるのは定期的に行っているレクリエーションの話題です。「どこ行きたい」「何したい」「何食べたい」などの意見を集め、最後に色々と出た中から多数決で決めていきます。今まで公園やカラオケ、植物園、食べ歩きなど

など、たくさんの方所に行ってきました。

なかまの家

小川清親





連載 がんばれ イリアンソス! シリーズ ⑬

「寮の食事を通して」

生活寮調理スタッフ 染谷 茂子さん

今回は生活寮でご飯を作っていたいただいて
いる染谷さんにお話を伺いました。
毎日、美味しいご飯ありがとうございます。

Q1・自己紹介をお願いします。

「にじ・かぜ」と「うみ・そら」で働かせて
頂いています。主に火曜日・金曜日の「に
じ・かぜ」の朝ご飯と、水曜日の「うみ・そ
ら」の夕ご飯を作っています。
働いて2年間が経過します。

Q2・どのような経緯で働くようになったん
ですか？

以前は病院で長く働いていました。あまり、
たくさん話すようなことはないですよ（笑）

Q3・初めの印象はどうでしたか？

スタッフの方が皆さん頑張っているなど
いう印象です。やさしくて、とても働きやす
いです。

Q4・現在の印象はどうですか？

「かぜ」で調理をすることが多いので「か
ぜ」の方々中心になってしまいましたが雰囲気
がとても良く、利用者の方も皆さん自然体で
素晴らしいです。自由な雰囲気があります。
キッチンからリビング全体が見渡せて一人ひ
とりの動きが見渡せて、とてもにぎやかです。
逆に、要望があれば言っただけです。

Q5・仕事で心がけていることはありますか？

清潔第一です。
当たり前のことですが気をつけています。
うるさいかもしれないけど、綺麗になるよう

にがんばっています。

Q6・仕事のやりがいや楽しいことはなん
ですか？

毎日が違うので本当に楽しいです。作って
アツという間に食べてくれるので張り合いが
あります。食欲が無い方がいらつしやると心
配になります。

最後になりましたが一言お願いします。

「これからもよろしくお願いします！」

とても、優しく、明るい染谷さんでした。
これからも皆さんの胃袋を支えてください。
ありがとうございました。

法人行事

『リサイクル久留店』

のぞみの家 チャレンジ班が中心となっておこなうバザーです。

◎日程：12月11日(木)・18日

◎場所：滝山団地センター前広場

※雨天中止 気温によって中止・開催時間短縮の場合もあります。

『わたしたちの作品展』かなえ・なかまの家の作品展です。
みんなの想いを作品にこめました。ぜひ、みにいらして下さい。

◎日程：12月3日(水)～5日(金)

◎場所：スペース105 (東久留米市役所向かい)

◎時間：10時～17時 (3日のみ13時30～)

ご寄付をいただきました。

(9月末まで)

法人各施設にご寄付をいただいております。誠にありがとうございました。

いただいたご寄付は法人各施設の充実や、将来構想の資金として大切に使用させていただきます。

藤田 祐子様
ザ・ブライス滝山様
八森 昌子様
山脇 百合子様
伊藤 有子様
伊藤 憲碩様
清瀬 特別支援学校教職員有志様
渡辺 行教様

ありがとうございます。

表紙の写真：なかまの家さくら班旅行 in 山梨県

左：触るまでは少し怖かったけど触ってみたらともかわいかった。

右：牧場のアイスはやっぱり味が濃くておいしかった。

《 発行 》

特定非営利法人 障害者団体定期刊行物協会

〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-26-21

Tel 03-3416-1698 Fax 03-3416-3129

《 企画、編集 》

社会福祉法人 イリアンソス

〒203-0043 東京都東久留米市下里 2-7-18

Tel 042-473-9027 Fax 042-473-9036

《 編集委員会 》

磯部光孝・多田由美・大河原敏和

村田萌香・小川清親・廣智章

矢島正樹・吉田遊佑・勝田誠矢

ホームページからはカラーで
ご覧いただけます

イリアンソス

検索

定価 100円

編集後記

すっかりと秋めいてきましたね。秋と言えば「の秋」なんて良く耳にしますが今回は『食欲の秋』の話をしめます。やっぱりおいしいものたくさん出てきますよね。

私事ですが好きな食べ物には桃ですね。今年のシーズンは過ぎてしまいました。毎年、山梨県の直売のお店に買いに行くんですが、この桃、なんと皮をむかずそのまま食べられるんです。そのおいしさの虜になり早いもので6年目になります。今から来年が楽しみです。みなさんおいしいからと言って食べ過ぎ注意ですよ。

なかまの家 小川清親